



2011年も終わろうとしています。様々なことがありました。決して忘れてはいけないことの1つに、3月11日の東日本大震災があります。たくさんの命を奪った自然の驚異。核保有やテロ、殺人といった人為的な事件ばかりに目が向けられていた折、何の予告もなく「自然」が私達に警鐘を鳴らしてきました。それから続く、世界各地での地震・洪水・異常気象……。私達は便利な生活を追い求めるばかりに、自然を畏怖する気持ちを忘れていたのかもしれませんが。しかし、私達はこの大惨事の中から、近しい人の大切さ・絆・再生する力……。様々なエネルギーを得ました。山梨県は東北とは離れています。ともすれば絵空事になってしまいます。今日も美しくそびえている富士山。いつ覚醒するかわかりません。静かに存在しつづけてくれることを心から願わずにはられません。

放射能やセシウムという言葉も、震災以来私達の頭から離れません。心配する人々。被災した上に放射能の影響が大きいといわれようと故郷を離れずそこに住み続けようとする人々。たくさんの情報に溢れる現代を生きるものとして、興味本位ではなく、熟慮して、前に進んでいかなければなりません。昔のように少ない価値観の中で生活していた時は、だいたいの考えは隣の家庭にもあてはまるものでした。たくさんの価値観が存在する今、お互いの価値観を大切にして、異なる価値観を受け入れながらも、自分の道を進んでいかなければなりません。難しいですが、現代の私達に課せられた大きな問題です。

子ども達の心も昔のようではありません。とても強かったり、とてもがんばれたりします。しかし、些細なことで折れてしまったり、自分の殻に閉じこもったりしてしまいます。親は突然の出来事に戸惑うばかりです。「あれが兆候だったのかも……。」と気付いても、どう接していいのかわかりません。ただ、おろおろするばかりです。「親の言うことをきいて、いい子だったのに……。」悔やんでも出口はみつかりません。挫折は、その時はとても苦しいです。しかし、立ち直った時は強い糸のようになります。心も優しく人の痛みの分かる思いやりのある大人になるでしょう。どんな日々も、人生の中で無駄な日々ではないと思います。教育センターで折れた心を休ませた子ども達の多くは真剣に人生と向き合っています。真剣に自分の未来を考えています。 私たち人間には、再生していく力があります。これからやってくるであろう避けられない困難にも立ち向かっていかなければなりません。東北の人たちが示してくれた魂を忘れずに、私達はこの富士の麓で生きていきたいと思います。

---

教育センターは、富士河口湖町の子どもの明るい生活のお手伝いをするためにあります。心の隅にメモしておいてください。

12月29日(木)から1月3日(火)までお休みになります。家族と一緒によい年末年始をお過ごしください。

---